

ふる  
と  
の



町花：山百合

# 議会だより

12月定例会 No.114  
平成23年1月20日

- 一般会計 2億5000万円余の補正(地デジ対策等) ……3
- TPP交渉参加反対など4件の請願を採択 ……………4
- 一般質問 ジェネリック医薬品の普及促進などに8議員が13問 ……5
- 町単独の緊急米価対策を決定 第4回臨時会 ……13



願い事は？ 小正月の団子挿し  
(H23.1.10 上松川地区公民館)

# 古殿小学校

## 土地利用に課題が

### 12月定例会のあらまし

12月定例会は12月10日から16日までの7日間開かれました。

一般質問には8人が登壇し、スクールバス運行、廃校舎・跡地の利活用、学童保育、ジェネリック医薬品の普及促進等の13項目について質問がありました。(5ページから12ページに掲載)

また、統合小学校増築工事にかかる工事請負契約変更、2人の固定資産評価審査委員会委員の選任、一般会計補正予算など、9議案を審議し、原案のとおり可決しました。

### 統合小学校増築工事請負契約の変更

消防電気設備及び土間コンクリートなどに変更が必要となり、請負金額を1億85万円増額し、総額3億9770万円とする。

# 開校目前の

# いかに、 廃校舎と跡

## 各会計予算の補正状況

(1万円未満切り捨て)

会計区分		今回補正した金額	補正後の予算総額
一般会計		2億5,865万円	39億3,448万円
特別会計	国民健康保険	200万円	6億9,795万円
	簡易水道	26万円	8,800万円
	農業集落排水	12万円	7,620万円
	林業集落排水	8万円	2,396万円
	介護保険	△26万円	5億6,556万円

※各会計とも全会一致で可決決定される。

## 質疑

**Q** 財政調整基金と文教厚生基金に1億7900万円の積立金が予算化されているが、その原資と使途はどのように考えているか。

**A** 財源は普通交付税が確定したのと合わせ経済対策として3390万円が追加配分されたことにより1億6400万円が収入増となったこと等によるものです。財政調整基金7900万円には経済対策分も含まれていますが、まだ使途内訳が確定されておらず、今後わかりしだい補正予算を計上します。文教厚生基金については、今後廃校活用等の原資に充てるために積み立てします。

**Q** 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時基金事業は、国が1年間だけ補助するというものだが、その内容と、町としては次年度も継続していくのか。

**A** 今回は、中学1年生から3年生までの2回分を予算化しました。来年度以降については、国の方針に基づき、継続と考えています。

**Q** 地デジ放送対策で8296万円の補正が組まれているが、この事業の実施により、どの程度まで対応することができるのか。

**A** 今回補正に計上しているのは、締め切りに間に合った5カ所のもので、残り4カ所については新年度予算で対応します。

**Q** 立木売払い収入550万円は、どこを売ったものか。

**A** 町が借り受けて造林した三株部分林で424万8000円、残りが戸草部分林の収入です。

**Q** 企業立地促進助成金3000万円は富士通テレコムと思うが、その内容について。

**A** 海外から新たな受注が見込めるということで、建物3155㎡を増設し23年3月1日から操業できるよう進めています。また、新たに地元5人を含む8人を採用し、現在は研修中とのこと。

**Q** 中学生海外派遣事業費が大幅な減額となっているがその理由と、次年度の対応は。

**A** 当初20人を予定していましたが、5人の参加となりました。中体連等の活躍により日程的に参加できなくなってしまう事によるものです。次年度については現在学校と協議中です。

(質疑の一部を掲載)

固定資産評価審査委員会 委員

人事案件に全員同意



おかべ りょうしち 氏  
再任 岡部 良七 氏  
鎌田字市房内



のざき きよし 氏  
新任 野崎 清 氏  
山上字発地久保

任期は、平成22年12月24日から  
24年12月23日までの2年間

みなさんからの  
請願

◎ TPP交渉参加反対に  
関する請願

「提出者 あぶくま石川農業  
協同組合代表理事 組合長  
高原喜國」

審議の結果 採択

「2011年度の教育  
予算の拡充と教職員定  
数の改善を求める意見  
書提出」方の請願

「提出者 福島県教職員組合  
中央執行委員長 竹中柳一」

審議の結果 採択

「複式学級解消、小規  
模学校における教職員  
の配置基準の改善を求  
める意見書提出」方の  
請願

「提出者 福島県教職員組合  
中央執行委員長 竹中柳一」

◎ TPPの参加に反対す  
る請願

「提出者 福島県南農民組  
合 代表 大竹利男」

審議の結果 採択

「患者の窓口負担大幅軽  
減を求める請願書」

「提出者 福島県保険医協会  
理事長 酒井 学」

審議の結果 不採択

意見書を国に提出

◎ TPP交渉参加に反対  
する意見書

「提出先 衆議院議長・参議  
院議長・内閣総理大臣・農  
林水産大臣・外務大臣・経  
済産業大臣」

◎ 2011年度の教育予  
算の拡充と教職員定数  
の改善を求める意見書

「提出先 (2件) 文部科学大  
臣・総務大臣・財務大臣」

「提出先 (2件) 文部科学大  
臣・総務大臣・財務大臣」

平成22年12月14日

常任委員会審査・現地調査

総務

付託を受けた請願3  
件の審査と建設が進む  
統合小学校増築校舎、  
そして介護保険事業に  
ついて調査を行なった。

介護保険制度が始ま  
ってから11年目を迎え  
ましたが、町の高齢化  
率は平成22年4月現在  
で30・3%と石川地方で  
は一番高くなっていま  
す。特に要介護認定を  
受けた方の中で、要介  
護3以上の方の割合が

高いことが一つの特徴  
となっています。従っ  
て施設サービスの希望  
が多いことから今後一  
層の充実が望まれます。



介護サービスの充実が急務：介護事業の調査

産業建設

付託のあった請願2  
件の審査と、工事が行  
われている現地を視察  
し説明を受けた。



町道工事の視察

現地調査箇所・事業名

社会資本整備総合交付金事業	町道仁田線
森林整備加速化等基幹作業道開設工事	宝ノ沢線
社会資本整備総合交付金事業	町道田中田湯ノ口線
道路改良事業	町道若神子滝線
統合小学校増築工事	

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずね

# 一般質問



やない やすよし 議員  
矢内 泰吉

## 三期目の町長選出馬は

**Q** 任期もあと少しとなり、一期目から取り組んできた小学校の統合、町道改良、仁田橋の架け替え、経済対策での道路の維持補修や支障木の伐採子育て支援として中学生までの医療費、幼稚園授業料の無料化や保育料の軽減等町民生活を第一にした多くの事業に積極的に取り組まれたと思う。

町長は二期目に町民と約束した政策も概ね実現され、その努力は高く評価されるものです。

町政運営を振り返り、次の点について伺う。

**第1点** 二期8年の町政運営を踏まえて、今後の課題は何か。

**第2点** 町民との約束で任期中に実現できなかったものについてどう考えているか。

**第3点** 三期目の町長選出馬についての考えは。

信任をいただければ全力を尽くす

町長

**A** **1点目** 懸案であった小学校統合が実現したことは、町教育行政の大きな前進であり、道路上下水道、情報通信網など日常生活に直結する生活基盤の整備についても着実な推進が図れました。また、福祉施策においても、高齢者や保護者の方々の負担軽減を図ることができました。

課題としては、町振興計画の柱である農林業を



改良が図られた道路網 (R349:竹貫田)



子どもたちの将来のために社会基盤を充実

はじめ商工業の振興・活性化であります。

雇用の場の確保、産業の振興は今後も町政運営における大きな課題と考えます。

**2点目** 今後もその実現に努めます。特に大きな課題である企業誘致と雇用の場の確保については引き続き県及び管内町村

と連携強化を図り努力します。

幼保一体施設、町営住宅の増設等については、学校跡地の活用等を含め実施に向け進めます。

**3点目** 町民の皆様への責任をいただけるならば引き続き町の発展と諸課題の解決に全力を尽くす決意です。



せきね すみお 議員  
関根 角男

## スクールバス 雇用対策としても町営での運行は

**Q** 小学校統合後の通学手段として、福島交通の路線バスと、福島交通に委託して行う6台のスクールバスで送迎すると議会で答弁したが、厳しい雇用情勢の中にあり、町独自の雇用対策としても町営でのスクールバス運行は考えなかったのか、次の点についての説明を。

**第1点** 最初の町営バス6台から、議会に何の説明もなく福島交通に変更になった理由は。

**第2点** 町長は雇用に対して、どのような認識を持っているのか。

**第3点** 中学校・幼稚園・保育所等からバス利用の要望があった場合の対応は。

## 総合的に検討し一括委託に

町長・教育長

**A** **1点目** 今後の児童の増減、乗車場所の変更、運行コースの変更に伴うバス台数の増減、中

**2点目** 行政目的の一つである住民福祉の向上を考えると考えます。

**3点目** 中学生のバス利用については、以前答えましたように、今後検討していく考えです。



安全・安心な登下校を！  
福島交通に一括委託（田口小児童）

## 廃校利用の介護施設は

**Q** 小学校統合に伴い、廃校となる施設の利活用については、以前から議論されてきました。全国的に小中学校の統廃合が進む中で、新潟県内にお

慮した介護老人保健施設への活用は考えていないのか。

## 統合委員会の報告を待ち

協議する 町長

**A** 廃校舎等の利活用については、廃校となる5校それぞれに、歴史的経緯と意思があるので、地域の意見を尊重した利用法を検討します。

12月初めに部会報告が

また、統合委員会に報告されると聞いておりますので、統合委員会からの意見を待って、福祉関係施設等の必要性も含め、内部での協議を始めます。



廃校を目前にして新たな活用の選択が急がれる論田小学校



おかべ まさちか  
岡部 政一 議員

## きめ細かな過疎対策を

**Q** わが町も少子高齢化により、今年度中にも、人口が6000人台を割ることが予想されます。このように人口の減少により、過疎化が進むと生活水準が維持できなくなり、買い物するのに買う所もない、車の燃料入れるのにもスタンドがないと言う不慣れた生活環境が生ずるのです。それを少しでも食い止めるにはきめ細かな過疎対策が必要

です。  
**第1点** 過疎化は止められるのか、その対策はなにか。  
**第2点** 高校生の通学費の半額助成と、直ちに、

中学生通学をスクールバス対応にすべきであると思うがどうか。  
**第3点** ふるどの農協スーパーの存続活動をしていようだが、町として対応は考えているのか。  
**第4点** 地域の防災防犯と消防団員の確保をより充実させるため、町内事業所との間に協力認定制度を考えてはどうか。  
**第5点** 路面凍結、除雪対策、特に危険個所の路面凍結は徹底した対策をすべきと思うがどうか。  
**第6点** 一人暮らしの高齢者の安否確認は徹底しているのか。

## 計画に基づき施策を展開

町長・教育長

### 1点目

**A** 自立促進計画に基づき、生活基盤の整備と共に、医療、福祉、教育等、施策の展開を図っています。

**2点目** 現在、石川町への

高校生のバス定期代を半額助成すると年間約1700万円になります。助成は考えていません。中学生のスクールバス利用は検討しています。

**3点目** 署名活動は聞いていません。また、対応

については検討する状況

にはありません。

**4点目** 各事業所の理解と、協力を得ており、現時点において協力認定制度が必要と考えていません。

**5点目** 更に除雪体制の連携を図りながら、きめ細かな現道対策を講じていきます。

**6点目** 安否確認、生活相談、介護相談については各事業を通して実施しています。



社会基盤の整備と少子化対策を

## TPPによる町への影響は

**Q** TPPは関税撤廃が原則の自由化貿易協定です。日本がこの協定に参加すると、わが町の農業や、町内企業への影響など町民にとっても関心のある問題です。

## 産業により大きく異なる

町長

**A** 1点目 国の試算

を置き換えたとき、米2億5000万円、牛乳7000万円、牛肉で1億8000万円の生産減となる見込みです。

**2点目** 平成21年の調査では工業産出額は94億4000万であり、輸出入関連企業は経済効果があると思っ

ています。  
**3点目** 高齢化が進み、農業者の確保対策にしっかりと

**第1点** 町の農産物の影響がいくらあるのか。

**第2点** 町内企業のメリットはあるのか。

**第3点** 参加した場合、町の将来はどのようになると思うか。



貿易自由化により耕地の荒廃が心配



佐藤 ひろのぶ 議員

## 火災警報器の早期設置を

**Q** 来年の5月末までに火災警報器の設置が義務づけられています。消防

**第3点** 高齢者等が自分で設置出来ない人の対策は。

白書によれば、被害軽減の効果が確実に表れています。9月末までに町内で設置している世帯は、54.4世帯で率にしますと47.43%であります。

**第4点** 設置義務の法制化で、期日までに設置しないと、罰則規定等はあるのか。

他自治体では、普及率アップに向けて様々な取り組みをしているようですが、町としての対応を伺います。

**第5点** 町としての設置に向けての対策はどのようなものか。

**第1点** 町では、火災警報器の設置にどのような取り組みをしてきたか。

**第2点** 町営住宅・借家等の設置はどういう形で行うのか。



天井に設置された火災警報器

## 設置に向けて促進を図る

町長

**A 1点目** 一人暮らし

し高齢者世帯への設置、消防団による販売促進、日常生活用具給付事業等で設置しています。

**2点目** 町営住宅には、

設置済みです。借家については、家主と入居者の協議になります。

**3点目** 消防団へ、対応

するようお願いしています。また、消防署でも取り扱い、取り付けの指導をしています。

**4点目** 罰則の規定はありません。

**5点目** 消防団を通して

の販売促進、さらに、消防署を通しての設置促進を図っていきます。

## ジェネリック医薬品を普及せよ

普及せよ

**Q** ジェネリック医薬品の普及・促進のために、

国レベルでの施策が積極的に進められています。厚労省の経済財政改革の基本方針として、ジェネリック医薬品のシェアを30%以上に引き上げることが発表されています。

患者本人の負担軽減や医療費抑制の選択肢として、先発医薬品より2、7割安く、成分も効能も変わらない、ジェネリック医薬品の普及促進に向

けての見解を伺います。

**第1点** ジェネリック医薬品に対してどのような見解をもっているか。

**第2点** 町では、いままでにジェネリック医薬品の普及に対して、どのような対策を行ってきたか。

**第3点** 患者本人の医療費の負担軽減・医療費の抑制のために、町民への啓発を図り、普及に努めていくことが大切であると思うがどう考えるか。

くジェネリック医薬品の普及促進に向

くジェネリック医薬品の普及促進に向

## 普及に向けて取り組み

町長

**A 1点目** わが町の

調剤費用は、平成21年度実績で医療費の21%を占めており、医療費の抑制を図る上で、ジェネリック医薬品の普及は重要であると考える。

**2点目** ジェネリック医薬品の普及啓発と医療費の抑制を図る目的で、医薬品の差額通知書を1月に送付しました。差額通知書の内容は、現在服用している薬剤をジェネリ

ック医薬品にした場合の差額が表示されています。

**3点目** 差額通知書を継続していくとともに、広報紙等によりジェネリック医薬品の普及啓発に努めていきます。



ポスターでの普及啓発

### \*ジェネリック医薬品

製薬メーカーの特許が切れた薬品で、成分・効能が同じものと、厚労省が認めて認可した医薬品。





さがわ ゆうじ 議員  
佐川 勇司

## 廃校利活用に 地域密着型介護施設を

**Q** 廃校跡地利活用は、町民が大きく期待されている事と思います。それぞれの地域の核とされてきた跡地が地域にも、町にとっても、有効な活用が求められ、跡地物件等の現状を踏まえ、地域や町の実情に合った、施策を町と議会が、総力を上げ取り組むべき課題と思います。そこで、次の点を伺います。



- 第1点** 検討委員会の経過内容と今後の計画内容は、どのようなものか。
- 第2点** 町の施策案はどのようなものか。
- 第3点** 地域密着型介護施設デイサービスの活用は、どうか。

一つの利用法として

検討する。

町長

**A** **1点目** 12月初めに開催された会議において、部会報告がまとまり、近日中に統合委員会へ、報告になるものと聞いています。また、各行政区



現在のデイサービスセンター「コスモス荘」



廃校利活用が期待される大久田小学校

で協議の結果、区としては維持管理出来ないと聞いています。

**2点目** 廃校となる地域それぞれの歴史的経緯や思いを考慮し、施策を検討する方針でありますので、町の活用法等につきましては、統合委員会からの意見に基づき、内部

での協議に入りたいと考えています。

**3点目** 廃校の活用に対する基本的な考え方は、施設の必要性と共に、管理運営が肝要でありますので、介護福祉面での活用も、一つの活用法として、検討します。



おかべ じゅんいち 議員 岡部 淳一

## 次年度事業への具体的考え方は

- Q** 22年度事業も最終版となってきましたが、今年度は住民福祉向上に一定の前進を図る方向もありました。しかし、先のない政治情勢に変わりはありません。その状況の中でも次年度に向けた施策が検討されていると思います。そこで提案されると思われる次の項目について伺います。
- 第1点** 雇用の確保に対しての考え方と取り組み
  - 第2点** 農業振興の考え方と取り組み、特に米について。
  - 第3点** 廃校による施設と跡地利用、特に大久田小について。
  - 第4点** 道の駅の活性化の考え方、特に施設の改良について。
  - 第5点** 高校生の医療費無料化を来年度当初から実施してはどうか。

## 個別に検討し対処する

- A 1点目** 国事業及び町単独により、直接27人、委託で13人雇用しているが、23年度も同様の
- 2点目** 雇用対策に取り組みますが、振興策は難しいが、農業者の声に耳を傾けます。また、米生産支

町長

- 援は、本年のような場合には、国の動向も見極めながら対処していかねばと考えています。
- 3点目** 跡地等の利用については、統合委員会からの意見を待って、検討する考えです。
  - 4点目** 地元の農産物・特産品を如何に多く提供できる体制がとれるか、また、屋外施設やイベントも欠かせない取り組みです。施設については、使い勝手など、総合的に検討し判断します。
  - 5点目** 高校生の無料化は、現時点では考えていません。



施設の活用を総合的に検討 おふくろの駅

## 経済対策の具体的取り組みは

- Q** 経済状況の厳しさに対して、全国の自治体の中には「国の政策を待っているだけでは間に合わない。自分たちで何とかしよう」と知恵を絞った施策が実現されています。
- 第1点** 今年度実施されているゴミステーション

町長

- 建築事業での基本的な考え方、業者への説明、入札方法、結果について。
- 第2点** 仕事おこしについて、町の考え方と具体的取り組み。
  - 第3点** 住宅リフォーム助成事業について、どんな認識を持っているか。
  - 第4点** 緊急対策、業者支援として、住宅リフォーム助成事業に取り組んでも良いのではないか。

## 住宅リフォームも

## 有効な制度と認識

町長

- A 1点目** 試験的に10カ所の工事を1カ所1件工事とし、見積合わせを実施した結果、5業者が参加し、2業者が受注しました。基礎工事は、10カ所全部を1件として土木業者に発注しました。
- 2点目** 今年度も、地方交付税の追加と活性化交付金の割り当てがあったので、充当事業が決定次第、補正予算を編成する考えです。
- 3点目** 新たに住宅リフォームを検討している方には、費用負担軽減の観点からは、有効な制度であると認識しています。
- 4点目** 地域活性化・経済危機対策臨時交付金制度の対象であり、既に実施中の自治体もあることは認識しています。他自治体の取り組み事例を検証し、検討したいと思えます。



景観保持 ゴミステーション建設事業



たかぎ せつお 議員  
高木 節男

## 歴史的な地域資源を どう活かすのか

**Q** 地域の歴史や文化を見つめ、地域資源の価値を見直すことにより、問題点や問題解決の糸口が見つかる場合があります。伝統行事や歴史的な文化遺産は、先人が残した町民共通の財産であり、保存継承し後世に確実に伝えることが必要であることから、次の点について伺います。

- 第1点** 町史も編纂されてから40年が経ちます。平成13年度に町史編纂委員会設置要項が制定されたが、その後どのように進められたのか。
- 第2点** ビジュアール本としての町史を編纂する取り組みが、平成21年度までに完成する予定であったが、完成されたのか。
- 第3点** 過疎地域自立促進計画で、自然、文化遺産を記録、収集整理し、次世代に伝えるとは、どのような計画なのか。
- 第4点** 「流鏝馬の町」として、流鏝馬の振興に力を注いでいるが、過疎計画の中で「流鏝馬の馬場等の整備事業」とあるがどのような計画なのか。

**第5点** 流鏝馬をする地域は沢山あるが、「流鏝馬の町」として古殿町独自の特色の捉え方と全国に向けた更なるPRの発信は。

**第6点** 貴重な財産である文化遺産の保存と活用を図るため、後継者の育成計画は。



800年余継承されている流鏝馬・笠懸

## 継続的に支援し後世に伝える

町長・教育長

- A**
- 1点目** 平成14年度から町史編纂に取り組み予定でありましたが、同時に統合小学校開校に向けての事業がスタートしたため、これを最優先事業としました。今後は、本事業の在り
  - 2点目** 1点目で答えましたように、歴史編纂室等を設けておらず完成していません。
  - 3点目** 平成19年度に古殿の四季と伝統芸能を紹介するためのビデオの作

成、翌年には、将来にわたって伝えたいもの、守りたいものについてのアンケートを実施して「ふらの自慢三十景」を作りました。

地域の方々が、自然や伝統芸能を、後世に伝えるべく守っていくことが大切であることから、そのような活動に対して継続して支援していければと考えます。

**4点目** 流鏝馬練習のための馬場整備計画です。全国の約120

力所の地域で流鏝馬が開催されていますが、本町の流鏝馬は鎧、狩又の矢などが特徴的であることから、広域的にパンフを配布したり、町のホームページなどで紹介しています。今後も流鏝馬保存会と共に積極的なPR活動を展開したいと考えています。

**6点目** 流鏝馬射手養成については、流鏝馬保存会で平成5年から現在まで84人を育てており、今後も進めていく方針です。



編纂されてから40年が経過した古殿町史



さとう かずお 議員  
佐藤 一夫

## 学童保育の通年実施は

**Q** 古殿小学校開校も間近に控え、準備も着々と進められていると思えます。

が安心して働けるのではないかと。学童保育の進め方について伺います。

統合と同時に、スクールのバスの運行と学童保育が実施されます。

**第1点** 「ふるどの児童クラブ」利用申請書の集計結果はどうか。

学童保育の方針では、長期休業（夏期・冬期）は実施しないとのことですが、せっかく学童保育を行うのであれば、通年に渡り実施すれば、預ける保護者

**第2点** 学童保育実施に向けた、保護者との話し合いはどのように進められているか。

理由は、

**第3点** 長期休業中は実施しない方針だが、その理由は、

## 「協議・検討の結果であり」

### 計画どおり 教育長

**A** **1点目** 39人の申し込みがありました。

会、児童の安全・安心部会で話し合いをしてみました。

**2点目** 小学校統合委員

した。

**3点目** 児童の安全・安心部会の中で協議をし、さらに、保護者からのアンケートを取り検討してきました。また、申請書

配布の際に事業実施要綱を配布し、申し込みの受付をしたので、事業内容を充分理解したと考えています。



ボランティアの方々による学童保育① (田口小学校)



ボランティアの方々による学童保育② (田口小学校)

**\*学童保育(がくどうほいく)**とは、労働などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって行う保育を指す。

現在は「放課後児童クラブ」と呼ばれることが多く、行政においても「放課後児童クラブ」という名称を使用することが一般的である。

# 第4回 臨時会

22.11.29

## 町単独で「緊急米価対策」

### 反当り4000円の助成

平成22年第4回臨時会は、11月29日に開かれ、人事院勧告に基づく議会議員、町長等や職員の給与に関する条例の改正や、反当り4000円を助成する緊急米価対策を含んだ一般会計補正予算など6議案を、すべて原案どおり可決しました。

## 討 論

### 反対

岡部淳一議員

人事院勧告による給与と期末手当の改定は過去5年間で3回、今年度は2年連続の引き下げとなります。地方の実情は百年に一度の経済不況の影響により厳しい状況です。だからこそ、引き下げの悪循環にならないためにも国全体の景気を回復させる必要があります。

### 賛成

鈴木昭生議員

今回の改正は、公務員と民間給与の間に給与の格差が生じていることから、福島県人事委員会が勧告を行ったものであり、給与等の引き下げは止むを得ないものと考えます。

1823万円を増額し、総額36億7582万円に  
一般会計補正予算

## 質 疑

**Q** 今回行われる緊急米価対策助成金の支払時期と支払方法は。

**A** 12月末までに、口座振り込みにより支払いたいと考えています。

**Q** 交付農家が非常に多いが、事務手続き等はスムーズにいくのか。

**A** 町営農指導推進協議会が事業主体となり、農協が支払い事務を進めます。  
**Q** この制度の請求権等はどうか。  
**A** 基本的には耕作者に支給することを考えています。

## 議案 審議

### 人事院勧告に準じた給与等の減額改正

## 質 疑

**Q** 非常に厳しい経済状況の中、公務員の給与の引き下げに伴う町経済等への影響をどのように考えているか。

**A** 全体額で548万9000円が減額され、影響はかなり大きいものがある。

**Q** 一部を改正する条例の一部改正とは、具体的にどういうことか。

**A** 18年度の給与表の全面見直しで引下げが行われましたが、その時に現給保障職員という職員が発生し対応を図るための条例の改正です。

## 採決

賛成起立者多数(賛成11、反対2)により可決。



地域ブランドとして関西方面に出荷されるエコ米(阿武隈高原こしひかり)

# 先進地から学ぶ

## 地域の熱意で廃校舎を有効活用



村上市山北 交流の館「八幡」を視察

**新潟県村上市**  
ふるさと体験の宿 交流の館「八幡」  
はちまん

平成22年10月19日から21日まで、新潟県村上市と柏崎市における廃校舎の活用事例を研修してきました。

村上市では、体験交流施設として活用を図っている「交流の館 八幡」や食堂として活用している「ふれあいレストラン I R O R I」等を視察しました。また、スクールバスの運行状況や、廃校の活用事例について説明を受けました。特に、廃校を活用して村上市社会福祉協議会が運営している「デイサービス長津」については、関心が高くと予定時間を越えた研修となりました。

各施設は、運営主体がNPO法人や地域団体、そして社会福祉法人で行っており、地域の人々が皆で盛り上げようとする熱意が感じられました。村上市は、平成20年4月1日に村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町が新設合併して誕生し、これらの施設は山北町、朝日村にあります。

**新潟県柏崎市**  
全国初  
石黒爽風苑  
そうふうえん

柏崎市は、平成17年5月1日に柏崎市、高柳町、西山町と合併し新生柏崎市として発足しました。少子化により統廃合が進む中、平成22年2月16日に「市立学校の統合及

び学区の見直し等について」の答申がなされ、教育環境の整備を進めています。スクールバスについては、通学距離が小学校は片道3km以上、中学校は

片道4.5km以上の児童生徒を対象とし、小学校25校の中で10校、中学校12校中6校で利用され、市所有車と借上げバス等で運行されています。また、路線バス利用者には保護



柏崎市高柳町石黒 介護老人保健施設「石黒爽風苑」を視察

者に対して、通学定期券の実費等を補助金として交付しています。

石黒爽風苑は、旧高柳町にあり豪雪地域の中でも特に雪の多い場所です。

平成8年11月に開設されました。石黒小・中学校が平成8年3月に廃校となったことから、新潟県

長岡市の立川メデイカルセンターと土地の無償貸与、校舎の無償譲渡などの条件で再利用が決まりました。

定員は、入所40床、通所10人となっており、現地採用2人、旧町内からの通勤者5人と雇用の拡大にも寄与しています。

第13回

# 追跡レポート

## その後 どうなった？

# 自動体外式除細動器「AED」の 設置・普及をいそげ

平成20年9月 一般質問より



自動体外式除細動器「AED」が、心臓停止時の命を救う機器として注目を集めています。救急救命の観点から学校等に設置計画はあるか？



救急救命の観点から学校施設等への設置を前提に、関係機関と協議します。

その後の  
対応

平成21年度

古殿中学校に設置

平成22年度

統合小学校に設置のため購入

町公民館には、貸し出し用で日本赤十字社からの寄贈により設置しました。



中学校に設置されたAED



消防研修所でのAED使用訓練（町公民館）

## その他の設置場所

消防署  
幼稚園  
保育所  
コスモス荘  
ふるどの荘  
町民プール  
古殿クリニック

# みんなのページ

## 今回紹介するのは 仙石そ菜生産組合 の皆さんです。

組合員数12人。組合長の石井良政さんにお聞きしました。

### ☆いつ頃、どのような経緯で発足しましたか。

昭和54年、露地きゅうり生産者が18人の仲間を勧誘してパイプハウスを導入し、組合を発足させました。初代組合長の薄井喜義さんは、現在も元気で頑張っています。

(このほど出荷当初より、出荷のたびに行っていた出荷貯金箱を開けられ、奨学資金として町へ寄贈されました。)



ポット栽培で連作障害を克服

### ☆どのような活動をしていますか。

当初のきゅうり、ほうれん草、春菊、チェリートマトの栽培から、ミニトマトの周年栽培に移行し、毎年、圃場研修、講習会、先進地視察研修などを行い、技術の研さんや組合員の親睦を図っています。

### ☆今まで楽しかったこと、苦労したことなどありますか。

- ・ミニトマト出荷額、町で1億円達成(仙石8,000万円)
- ・組合員(仁瓶弘一・幸さん夫妻)が県農業賞を受賞。
- ・連作障害等で収量が減少したときに、町、JAなどの援助により新しい施設、設備が導入され、それらを乗り越えてきた。



仙石そ菜生産組合の皆さん

### ☆現在の課題などはありますか。

後継者がいないこと。=組合員の減少(最盛期22人)

### ☆将来の目標は

市場、消費者から喜ばれる良品質のミニトマトを生産し夢のある農業、楽しいそ菜組合を続けていきたい。



スーパーでミニトマトのPR

“町政を知るよい機会”  
議会を傍聴してみませんか

次回の  
定例会

3月上旬